

【本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術（M I S）の実態調査】

に対するご協力をお願い

研究代表者所属 足利赤十字病院 産婦人科

職名 参与

氏名 春日 義生

このたび、日本産婦人科学会データベース事業（腫瘍登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産婦人科学会倫理委員会臨床研究審査小委員会の承認ならびに理事長の許可のもと、

倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2015年1月1日から2019年12月31日までの間に、本邦の日本産婦人科学会腫瘍登録施設で子宮体癌についての手術を受けられた方

2 研究課題名

承認番号 1) 20R-087

研究課題名 2) 本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術（M I S）の実態調査

3 研究実施期間

東海大学 医学部 専門診療学系 産婦人科学

研究責任者 准教授 吉田浩

4 本研究の意義、目的、方法

意義：子宮体癌の治療には低侵襲手術（腹腔鏡やロボット支援下手術）が広く行われるようになってきましたが、本邦における保険診療との制約、施設の診療体制などにより、期待する結果が得られているかは明らかではありません。

目的：そこで、本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術の実態について解明することを目的として本研究を行います。

方法：日本産婦人科学会腫瘍登録データベース及び日本産婦人科学会腫瘍登録施設から提供される診療情報（診断名、年齢、手術日、術式、組織型、病期、再発状況、生存状況など）を統計的に解析します。

5 協力をお願いする内容

データベースに登録されている診療情報を使用するため、新たにご負担いただく内容はありません。また、日本産婦人科学会腫瘍登録施設から提供される診療情報（術前診断状況、再発状況など）を使用しますが、新たに負担いただく内容はありません。

6 本研究の実施期間

臨床研究審査委員会承認日 から 2022年3月31日 まで

7 プライバシーの保護

本研究で取り扱う日本産婦人科学会から取得する患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で提供され、使用します。また、日本産婦人科学会腫瘍登録施設から新たに提供される診療情報においては、「直ちに個人を特定できる個人情報」を削除された形で提供され、登録施設の有する個人を特定できる情報を連結させることはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

連絡先 足利赤十字病院 産婦人科
春日 義生

TEL : 0284-21-0121